

平成23年度 学校評価結果について

平成24年2月に、保護者と生徒に対してアンケート調査を実施し、海陽中学校の教育活動に対する満足度をうかがいました。ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。集計結果をもとに平成23年度の学校評価をまとめましたので公表します。

◆ 保護者へのアンケート調査

下記の14項目の質問に対して下の4段階で回答してもらいました。

1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あてはまらない 4 まったくあてはまらない

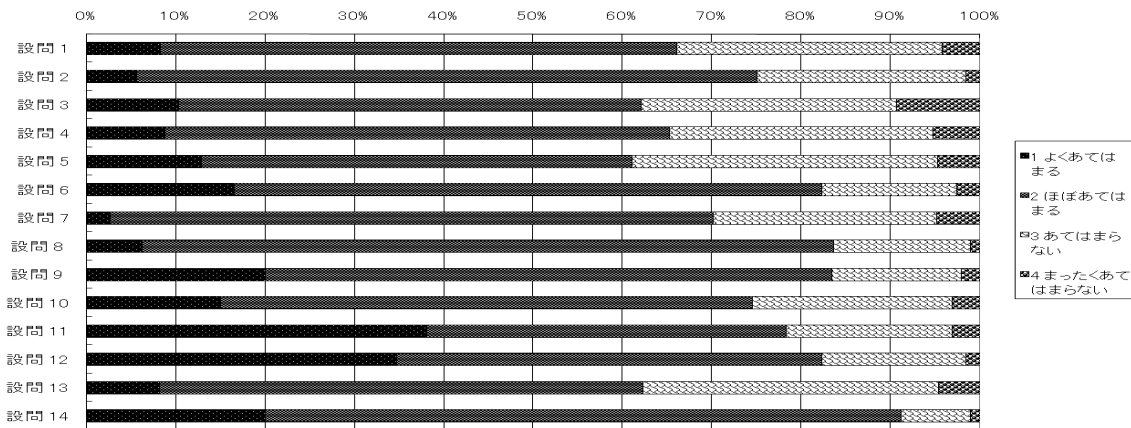
- 1 生徒の生活・学習面での健全な発達を考え、個性的で魅力的な学校づくりができています。
- 2 学校の教育に関する施設・設備は十分である。
- 3 毅然(きぜん)とした態度で指導したり、やさしく公平に接したり、あとのフォローをするなど適切な生徒指導ができています。
- 4 熱心な教職員が多い。
- 5 生徒は夢や目標に向かって積極的に取り組んでいる。
- 6 生徒は学校や学級のきまりを守っている。
- 7 分かりやすい授業が多い。
- 8 生徒の学習成果を公平に適切に評価している。
- 9 中学校の学校行事は生徒にとって楽しいものとなっている。
- 10 中学校の学校行事は、学級のまとまりや伝統の継承に役立っている。
- 11 部活動担当教員は、熱心に指導している。
- 12 生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。
- 13 学校からのさまざまな情報は十分に提供できている。
- 14 参観日や面談(回数・内容)などは適切である。14 学校でのできごとなどを家族によく話す。

調査結果

調査実施日 平成23年2月2日から2週間

回収率 92.3%

全学年保護者



考察

- (1) 全設問の肯定的回答と否定的回答の平均は次のとおりとなっている。
1=14.9% 2=59.3% 3=22.3% 4=3.5%
- (2) 肯定率が80%を超えるのが、設問6(学校のきまりを守っている)、設問8(学習成果を公平に評価している)、設問9(中学校行事は楽しい)、設問12(生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる)、設問14(参観日等の回数・内容が適切)の4項目であった。特に1年生は設問10(学校行事は学級のまとまりに役立っている)、設問11(部活動担当教員は熱心に指導している)の項目も80%を越えている。保護者にとって、子どもたちが海陽中学校生として楽しく・充実した学校生活を送れていると感じていただけている。
- (3) 肯定率60%台が4項目あった。それは、設問3(教職員の態度と適切な生徒指導)、設問4(熱心な教職員が多い)、設問5(生徒は夢や目標にむかって積極的に取り組んでいる)と設問13(学校からのさまざまな情報は十分に提供できている)である。
 - ・設問3・4については、保護者の皆さんは子どもを通して教職員の姿をとらえている。教職員へのご意見は真摯に受けとめていきたい。
 - ・設問5については3年生は進路選択をにし現実のものとなっており、また1年生は中学校生活を充実させることがメインになっているからだろう。より一層1年生からの将来に向けた系統的な進路指導に取り組まなければならない。
 - ・設問13については学校の通知がきちんと渡っていないようです。家庭に届く様な指導の徹底とホームページ等による発信をしていることを知らせていきます。
- (4) 自由記述の欄には、様々な角度から率直に書いてくださっておりました。今後の取り組みの工夫・改善の課題としていきます。

◆ 生徒へのアンケート調査

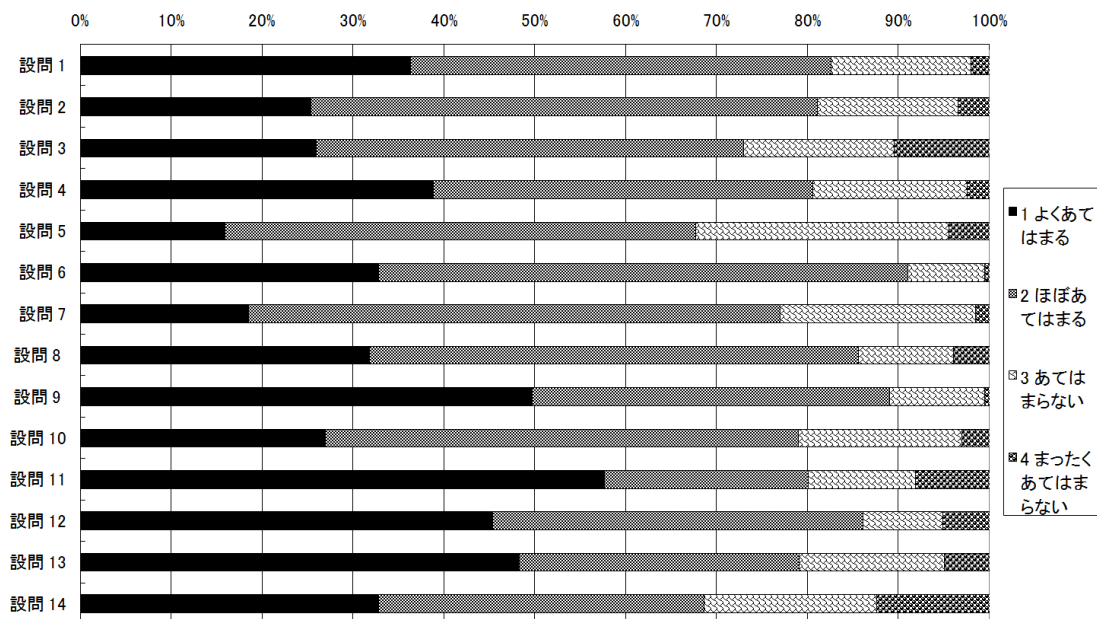
保護者への質問項目に類似した14の設問に対して下の4段階で回答してもらいました。アンケート項目は紙面の関係で省略します。

調査結果

調査実施日 平成24年2月

実施率 95.7%

平成23年度 全学年生徒



考察

- 全設問の平均は次のとおりとなっている。
・ 1=34.7% 2=45.3% 3=15.4% 4=4.5%
- 肯定率が80%を超えるのは設問1(中学校にはいろいろな活動があって楽しい)設問2(学校の施設・設備はつかいやすい)設問4(熱心な先生が多い) 設問6(学校のきまりを守っている) 設問8(学習成果を公平、適切に評価してくれている) 設問9(学校行事は楽しい) 設問11(部活動の担当の先生は熱心に指導してくれる) 設問12(部活動に熱心に取り組んでいる)の8項目であった。
- 肯定率が70%~80%は設問3(先生は毅然とした態度で指導したり、やさしく公平に接してくれている)、設問7(分かりやすい授業が多い)、設問10(中学校の学校行事は学級のまとまりや自分たちの生活の向上に役立っている)、設問13(通知を家に伝えている)の7項目であった。
- 本年度、肯定率が60%台の項目は設問5(夢・目標に向けた積極的な取り組み)と設問14(学校でのできごとなどを家族によく話す)の2項目であった。
- 学年の肯定率平均は 1年生91.8% 2年生80.0% 3年生67.6% 全学年平均80.0%であった。

◆ 総括(保護者・生徒のアンケート結果より)

- 学級や学校の決まりがよく守られている。
- 学習の評価が公平・適切にできている。
- 学校行事は楽しく、学級のまとまりや生活の向上に役に立つものとなっている。
- 参観日や面談(回数・内容)などは現状が適切である。
- 7~8割の生徒が学校からの通知や連絡を家族に伝えていると答えているが、学校からの通知等が家庭に届いていないという指摘を受ける時がある。学年が進むにつれて、学校でのできごとなどをあまり家族に話さないのも一因であると考えられる。学年便りホームページ等が有効活用できるようにしたい。
- 生徒たちは部活動に熱心に取り組んでいる。
- 教職員に対する評価は、保護者・生徒ともに肯定的な評価の割合が高いが、否定的な割合も高い。このことから学年・教科・部活動によって評価が分かれていると考えられる。
- 生徒の肯定率が学年が進むごとに低くなっている。統合1年目によるリスクが学年が進むにつれて大きかったと思われる。

◆ おわりに

保護者(74%)生徒(80%)と全設問に対して肯定的な評価が高く、おおむね海陽中学校としてよい滑り出しができたように思われる。「安全で安心して力をつける学校」をめざして学校、家庭、地域、関係機関が連携して取り組んできたことが成果として表れてきたのではないだろうか。しかし、この結果に満足することなく、生徒・保護者の少数の意見にも耳を傾け、真摯に受けとめていきたい。そして全項目の平均値が80%を越えるように、さらにわかりやすい授業、教師によるきめこまやかな生徒指導をめざしていきたい。また、本校教育方針の意味や願いを地域・保護者に説明し、家庭・地域・関係機関の連携をさらに深めていきたい。そして地域の教育力を生かした「開かれた学校」づくりにも引き続き取り組んでいきたい。